



第26号発行
2024・1・28

発行責任者
間島 正明



にて、柏崎民謡保存会後援会感謝の集い〴〵を予定致しました。新入会員の力を借り、練習の結果発表のステージを盛り上げてくれる事、間違いなしです。すべて、結果〴〵で行きますよう!!

新年の挨拶



顧問 横村 英雄

我が民謡保存会も「おギャー」と産声を上げてから、早や七十年が経ちました。振り返れば遠い昔の事です。新聞紙を揉んで鼻をかんだ時代、物や食べ物が思うように手に入らない時です。まして楽しい娯楽なんかは何もない時からのスタートでした。踊り好きな若者は、楽しみと云えば盆踊りの時季を楽しみに待ちこがれていました。どこからともなく聞こえてくる調子の良い唄と太鼓の響き。自転車に乗ってはどこ迄も、その音を探しながら走ったのは、私だけじゃないと思います。ところが、五十年、七十年と経った今、時代が変わり、若者がテンポの速いリズムやダンスに心を魅かれるようになり、民謡の熱が押しやれぎみになって来ました。でも、民謡保存会は頑張ります。飛んだり、跳ねたりも良いですが時には静かに穏やかな美し

年頭の挨拶



会長 赤川イシ子

2023・12・16。久し振りの保存会忘年会。雪の予報がしきりに流れる悪天候でした。新しく入会してくれた人達の歓迎会を兼ねての飲み会でもありました。楽しい会に、そして一番の目的は、私達はあなた方の入会をこんなに嬉しく、有り難く思っているのですよという心の内を伝えるチャンスはこれしかないかと、老骨にムチ打って、その一念を行動に表してしまいました。私も楽しかった。皆さんの笑顔と楽しんでくれている(?)姿を見て、細くかけかけていた保存会の糸が、太い糸になったと思える瞬間でした。思い立ったが吉日、継続は力なりです。先輩会員の心意気を受けとって下さい。70周年公演は無事終えました。又、心新たに、次の目標に進んで下さい。皆さん一人一人、目標は各々に違いはありましようが、

新年を迎え



理事長 間島 正明

コロナ禍で新年を迎え、元に戻るかと思う感じがして居ります。何が出て来るか判らない状況ではありますが、我が柏崎民謡保存会はありがたい事に新入会員が七人もあり、喜んで居ります。この後、覚えてもらい、レポートも増え、楽しくやって頂き、我が会を引っ張ってもらえる事と思えます。令和六年も、柏崎文化協会舞台部門への出演、柏崎ぎおん祭りの指導及び参加、夏の駅前盆踊り、そして十一月三日(日) 柏崎産業文化会館

「比へず焦らずあきらめず、赤青
入向って欠けてゐるから伸べるや
飲食会 社長 中井政嗣さんのことば」

い海や、野山の絶景に心を休める癒しの時間を作る事も大切じゃないかと思えます。柏崎の生んだ米山甚句なんかは年齢に関係なく、心休まる民謡だと思います。

民謡保存会を立ち上げてから休む事なく、七十年を保存育成して参りました。会員の情熱と努力はもとより、多くの市民の皆さまのご支援に支えられここ迄来られました。

今後共、地元柏崎の民謡を大切に頑張つて貰います。末永くご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

民謡保存会との思い出



副理事長 堀 憲一

昭和五十八年四月から市民会館が、県内でもいち早く管理運営が民間委託になる事で、五十八年二月・三月の二ヶ月間、市職員との引継業務が行なわれた。当時、三十三歳であった私の担当は舞台という事で、当時の品田技師から舞台のノウハウを教わる事になりました。当然、各種文化団体との繋がりも出来た時でした。

民謡保存会との出会いは、この時で、十月に保存会創立三十周年記念公演が開催されました。当時の保存会役員は会長の大島常吉、副会長は

星野保治、片桐勝夫、相談役には泉マキ、久須美キクノ、役員は横村英雄、品田義高、行田淳一、内山正三郎、赤川イシ子、三井田敬子、他錚々たる面々がおりました。

私は、お陰様で民謡保存会の三十周年から七十周年記念公演まで舞台制作に携わることができました。平成十五年から保存会に入会し、舞台・広報担当で微力ながら協力出来たと自負しております。今日までの四十二年間、民謡保存会と共に歩んで来ました。

今後は新しく入会された若い人達による柏崎の郷土民謡が脈々と継承されて行く事を心から願っております。

新入会員を迎えて



副理事長 岸本なおみ

十二月十六日、新入会員の歓迎会及び忘年会が開催されました。

70周年の発表会後、数名の会員が退会し、一抹の不安がありました。保存会はこのまま存続できるのか？

そんな折「ぎおん祭り」が復活しました。踊り指導の依頼が多数来ました。会員達が手分けをしてそれぞれの会場に向きました。踊りを教えながら「キラリ」と光る数名の方に入会を声掛けさせて貰いました。

快諾を頂いた方、有難うございました。

又、十年もの間「入会」をためらい勇氣を出して決断した方。華やかなフラダンスに別れを告げ地味な民謡を基礎から学びたいと闘志をもらす方。皆さん言葉の端々に熱意が感じられます。

大谷選手の言葉を引用させて頂いています。「常に挑戦したい」目標に向かって一緒に歩みましょう。

新入会員



出会いと決意



大瀧 裕美

伝統ある民謡保存会に入会できたことを、とても嬉しく思っています。ぎおん柏崎まつりで見ていた列の先頭での華麗な踊りと、活気溢れるおはやしが毎年の楽しみでした。

町内の踊り練習で声をかけて頂いたことがきっかけとなり、練習に参加することになりました。踊りもままならない新人の私たちに先輩方は優しく親切に教えて下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも

民謡保存会の発展のために励んでいきたいと思えます。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

民謡保存会に入会して



富川芽久美

生まれも育ちも生粋の柏崎人で、物心ついた時からぎおん柏崎まつりには全て参加するほど大の祭り好きでした。年齢を重ねる毎に祭りを楽しむだけでなく、柏崎の素晴らしい伝統を継承したいという気持ちが強くなり、この度ご縁のおかげで民謡保存会へ入会させて頂いただけに事になりました。とても嬉しく心は希望に満ち溢れています。精一杯努めてまいりますので、未熟ですがどうぞよろしくお願いいたします。

民謡保存会に入会して



吉田江里子

毎年、柏崎のぎおん祭りで民謡流しに参加するのが楽しみでした。その度に、民謡保存会の方の踊りを見て「素敵だな、私も入りたいな、でも簡単に入れないのかな」と毎年考えていました。

一度しかない人生、後悔しないように生きたいなど思い、長年の私の思いを今年の民謡流しの練習の際、思い切って伝えてみました。そして、色々な方のはからいで、無事に民謡保存会に入会することができました。

実際、民謡保存会に入会して、様々な踊りを練習していることに驚きました。一気には覚えられませんが、少しずつ着実に自分の身にしていくらと思っています。

また、私は仕事が不定休で夜勤もあり、練習が半分くらいしか参加することができなく、大変心苦しく思っています。たまにしか参加できない分、参加できる時には一生懸命練習し、早く一人前になれるように頑張りたいです。

保存会に入会して



高橋 克幸

妻に手を引かれるような形で保存会に入ったのは四月頃だったと思います。太鼓の叩き方もわからない中、保存会の皆様に懇切丁寧に教えていただき、覚える曲数も段々と増えていき、また十一月にはマナビイスステージにも出していたりなど、太鼓と触れる時間も長くなり、楽しくなってきました。手を引いてくれた

妻に恥じないよう、精進いたしますので、宜しくお願ひします。

入会して



倉田 祐輔

改めましてお世話になっております。倉田祐輔と申します。七月の民謡流しへ親しむ中で、柴野さんからきつかけを頂き、入会の運びとなりました。

ご縁を頂いた短い期間の中で、民謡に情熱を持ちながら、未知のことに對しても柔軟に接していられる姿に感激を抱きつつ今に至っております。この喜びは、日常を暮らす活力に繋がり、一つ一つの思い出は、日々の課題を突破する知恵となるでしょう。希望の船出です。道中を楽しみにして。

入会して



田口 敏男

昨年の春からお世話になっております。五十六歳中年男子です。只今、三味線の特訓中ですが、以前から何となく日本の文化・芸術的な素養を身に付けたいと思っております。

御縁があつて歴史ある『柏崎民謡保存会』に入会させて頂き、大変嬉しく思っております。

出身は雪深い十日町ですが、海の柏崎が大好きです。夏は暇さえあれば海へ出掛け、禪一丁で過ごします。心は常に「かつしやぎき人」です。ので、ご安心ください(笑)。

入会して



藤井 洋平

「柏崎民謡保存会」への新会員になるにあたり、地元の民謡を学び、継承することができると魅力を感じました。私は、民謡や太鼓・尺八に興味があり、これまでも太鼓や尺八を学んできました。しかし、民謡を学ぶ機会が少なく、柏崎民謡保存会に入会することで、専門家から直接指導を受け、より深く民謡について学ぶことができると考えています。また、柏崎民謡保存会には、地元の方々と交流する機会もあるので、地域の文化に触れることができると魅力的です。私は、柏崎民謡保存会で民謡を学び、地域の文化に触れ、地元の方々と交流することを楽しみにしています。

今後の活動



理事 上村千代子

70周年が終わってから踊り手の人数が少なくなり、今後の活動に不安を感じていました。コロナ禍で中止されていたおん民謡流しが再開されることになり、参加団体がどの位あるのだろうかと初めは案じたりもしましたが、コロナ前程ではなくても多くの方の参加があり、一安心でした。又、全体練習でも思いのほか大勢の方が来て下さり、うれしく思いました。その後、花火前や介護施設、マナビイスステージと出演がありました。また、それなりに無事対応できたのかなとホッとしています。皆さんの後には三人の若い新人さんの入会があり、会員皆で喜んでいきます。



今は基本や三階節の練習を主にしていますが、五月の文化協会出演と一緒に参加できることを目標に頑張っています。これからも「和と輪」を大切に、ひとつひとつの行事をきちんとできるような皆さんで頑張りたいと思います。

新人七人衆を迎えて



理事 飯塚 和代

歓迎会を兼ねた四年ぶりの忘年会、名司会で盛り上げる赤川会長ならではの展開。一人一人の入会動機、まるで自分の時のように聞きほれた。

そして会員全員があますことなく出番を作り、太鼓、口笛、おどりまで飛び出し盛り上がりました。民謡に親しむ機会が少ない日々、柏崎民謡保存会は永遠に繋がったと思つた時間でした。

今年を振り返って



理事 種橋 靖子

今年は大いに行事はなかったが、県の民謡協会の三味線の講師の試験に合格できて、本当に嬉しかったです。けど、まだまだ学ぶ事は多いで

す。どんな歌のお囃子でもかけられる様になりたいし、色々な曲も歌えたり、三味線もできる様になりたい。着物も一人で着れる様になりたい。……。夢はどんどん広がります。これからは先輩達から沢山の事を教わりたいと思います。宜しくお願い致します。

四年振りのぎおん民謡流し



理事 牧野加代子

四年振りのぎおん民謡流し、合同練習に沢山の方々に参加してくれました。一般募集した笛の方々、日本海太鼓、保存会地方の音頭取り音出しが始まり、心ときめき、復活に感動しました。民謡流しをきっかけに、新人会員の入会、嬉しい情報に喜びを感じ、これからは郷土の民謡を守り、祭りを伝承していく為に努力して頑張ります。

殺しバチ



会計 曇 昌美

これは「柏崎おけさ」の三味線の奏法である。そしてそれは全国でも類をみない唯一無二のものだ。私は幸いにも先輩から伝授していただく機

会に恵まれた。本間さんは私の手とり、それは丁寧に教えてくださり言葉では言い尽くせないほどの感謝である。保存会にいる意味を問われれば「殺しバチを後世に伝えていくこと」と今なら答えることができる。新加入の三味線さん。一緒にその一翼を担っていきませんか。

保存会を思う



監査 大橋 義則

変わり行く季節の中で、保存会の活動が再開できた事に感謝いたします。

新たに会員も入り練習に励んでいる所です。世代交代も考えますが、気持ちを新たに邁進したいと思っております。

活動を通して皆様に愛され、豊かな感性を届けられたらと思います。



令和五年度 経過報告

六月六日 保存会後援会 於 産文

七月二十四日 柏崎ぎおんまつり 「民謡街頭流し」

八月二十七日 駅前大盆踊り

十一月十二日 マナビイステージ 新年会

一月二十八日 シャンカーラ

令和六年度 行事計画

五月二十五・二十六日

文化協会主催 文化祭

七月二十四日 柏崎ぎおんまつり 「民謡街頭流し」

八月二十五日 駅前大盆踊り

十一月三日 「感謝の集い」 於 産文

編集後記

三年間自粛していたコナ禍での文化活動も、ようやく活発になって来ました。七十周年の記念事業も成功裡に終える事が出来ました。昨年入会した新人七名の活躍に期待しつつ、今回寄稿していただきました皆様に感謝申し上げます。(堀)